

2021年3月期 第3四半期決算の概要

2021年 2月 12日



- かんぽ生命の伊牟田でございます。
- 本日は、かんぽ生命の「2021年3月期 第3四半期決算 電話会議」にご参加いただき、ありがとうございます。
- はじめに、お手元の資料に沿って、決算概要をご説明し、その後、質疑応答とさせていただきます。
- なお、各指標の増減の理由については、主要なものを述べていますので、ご留意願います。
- 1ページをご覧ください。

決算サマリー

| | 21年3月期3Q | 前年同期(末)比 | |
|----------------|---------------------|---|--|
| 経常利益 | 2,608億円 | + 269億円 (+ 11.5%) 通期業績予想 3,000億円 進捗率87.0% | 【連結業績の状況】 > 新契約の減少に伴う事業費の減少等により、経常利益は前年同期比11.5%の増加となる2,608億円、四半期純利益は前年同期比12.2%の増加となる1,290億円となった > 2021年3月期の業績予想について、上方修正を実施。上方修正後の業績予想に対する進捗率はそれぞれ、経常利益が87.0%、当期純利益が82.2%となった。業績予想の修正については、p11に詳細を記載 |
| 四半期純利益 | 1,290億円 | + 140億円 (+ 12.2%) 通期業績予想 1,570億円 進捗率82.2% | |
| 新契約 年換算保険料 | (個人保険) 223億円 | △ 1,215億円 (△ 84.5%) | 【契約の状況】 > 2020年10月5日より、お客さまにご迷惑をおかけしたことをお詫びすることを第一とする信頼回復に向けた業務運営を開始しているものの、引き続き積極的な営業活動を自粛していることから、個人保険の新契約年換算保険料は、前年同期比84.5%減の223億円、第三分野の新契約年換算保険料は、前年同期比95.3%減の10億円 |
| | (第三分野) 10億円 | △ 209億円 (△ 95.3%) | |
| 保有契約 年換算保険料 | (個人保険) 3兆9,955億円 | △ 3,230億円 (△ 7.5%) | 【EVの状況】 > EVは前期末から金利および株価の上昇等により、17.9%増加し、3兆9,189億円 |
| | (第三分野) 6,797億円 | △ 358億円 (△ 5.0%) | |
| EV | 3兆9,189億円 | + 5,946億円 (+ 17.9%) | |

- 今回の決算のポイントはご覧のとおりです。
- 新契約の減少に伴う事業費の減少等により、経常利益は、前年同期比11.5%増の2,608億円、四半期純利益は、前年同期比12.2%増の1,290億円となりました。
- 通期業績予想につきましては、本日上方修正を実施いたしました。詳細につきましては、11ページにてご説明いたします。
- 新契約実績につきまして、前年同期は2019年7月中旬まで通常営業を行っていましたが、2021年3月期第3四半期は、2020年10月5日より、お客さまにご迷惑をおかけしたことをお詫びすることを第一とする信頼回復に向けた業務運営を開始しているものの、引き続き積極的な営業活動を自粛していることから、個人保険の新契約年換算保険料は、前年同期比84.5%減の223億円となりました。また、第三分野の新契約年換算保険料は、前年同期比95.3%減の10億円となりました。
- EVは前期末から金利および株価の上昇等により、17.9%増加し、3兆9,189億円となりました。
- 第3四半期のEVおよび新契約価値は、第三者の検証を受けていない試算値であることにご留意ください。
- 2ページをご覧ください。

21年3月期 第3四半期の業績（前年同期比）

連結損益計算書（要約）

| | 20.3期 3Q | 21.3期 3Q | 増減額 | (参考) 20.3期 |
|----------------------|----------|----------|---------|---------------|
| 経常収益 | 54,615 | 51,273 | △ 3,342 | 72,114 |
| 保険料等収入 | 25,257 | 20,527 | △ 4,730 | 32,455 |
| 資産運用収益 | 8,674 | 8,012 | △ 661 | 11,377 |
| 責任準備金戻入額 | 19,763 | 21,878 | 2,115 | 27,673 |
| 経常費用 | 52,275 | 48,664 | △ 3,611 | 69,248 |
| 保険金等支払金 | 46,811 | 44,353 | △ 2,457 | 61,913 |
| 資産運用費用 | 913 | 531 | △ 382 | 1,240 |
| 事業費等 ¹ | 4,550 | 3,779 | △ 771 | 6,094 |
| 経常利益 | 2,339 | 2,608 | 269 | 2,866 |
| 特別損益 | 99 | △ 54 | △ 154 | 392 |
| 価格変動準備金戻入額 | 98 | △ 53 | △ 152 | 391 |
| 契約者配当準備金繰入額 | 813 | 685 | △ 127 | 1,092 |
| 法人税等合計 | 476 | 578 | 102 | 659 |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 1,150 | 1,290 | 140 | 1,506 |

注：主な勘定科目を掲載
1. 事業費とその他経常費用の合計



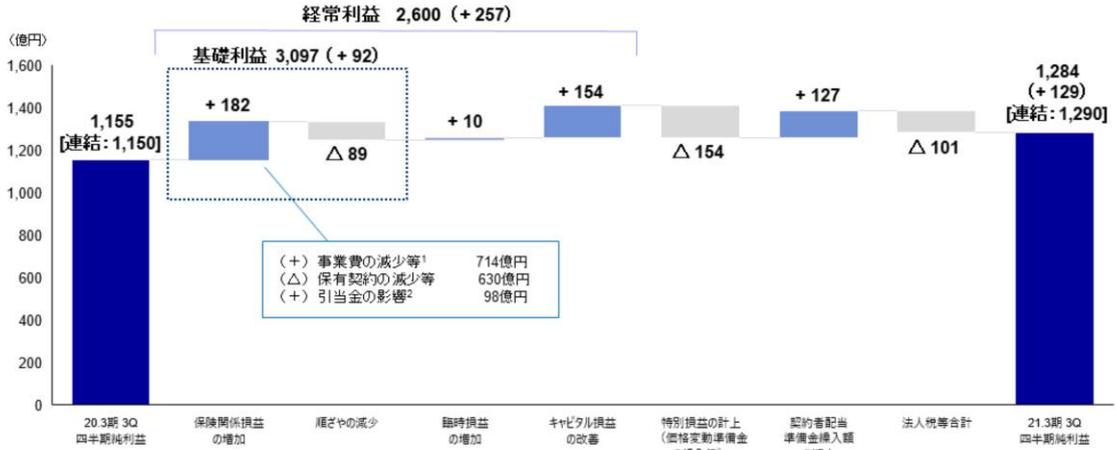
単体 経常利益の明細（要約）

| | 20.3期 3Q | 21.3期 3Q | 増減額 | (参考) 20.3期 |
|---------|----------|----------|------|---------------|
| 基礎利益 | 3,004 | 3,097 | 92 | 4,006 |
| 保険関係損益 | 2,501 | 2,683 | 182 | 3,201 |
| 順ざや | 503 | 413 | △ 89 | 804 |
| キャピタル損益 | △ 574 | △ 420 | 154 | △ 1,024 |
| 臨時損益 | △ 87 | △ 76 | 10 | △ 113 |
| 経常利益 | 2,342 | 2,600 | 257 | 2,868 |

- 今期の業績の状況はご覧のとおりです。
- 変動要因について、次のページでご説明いたします。
- 3ページをご覧ください。

21年3月期 第3四半期の業績（前年同期からの変動要因：単体ベース）

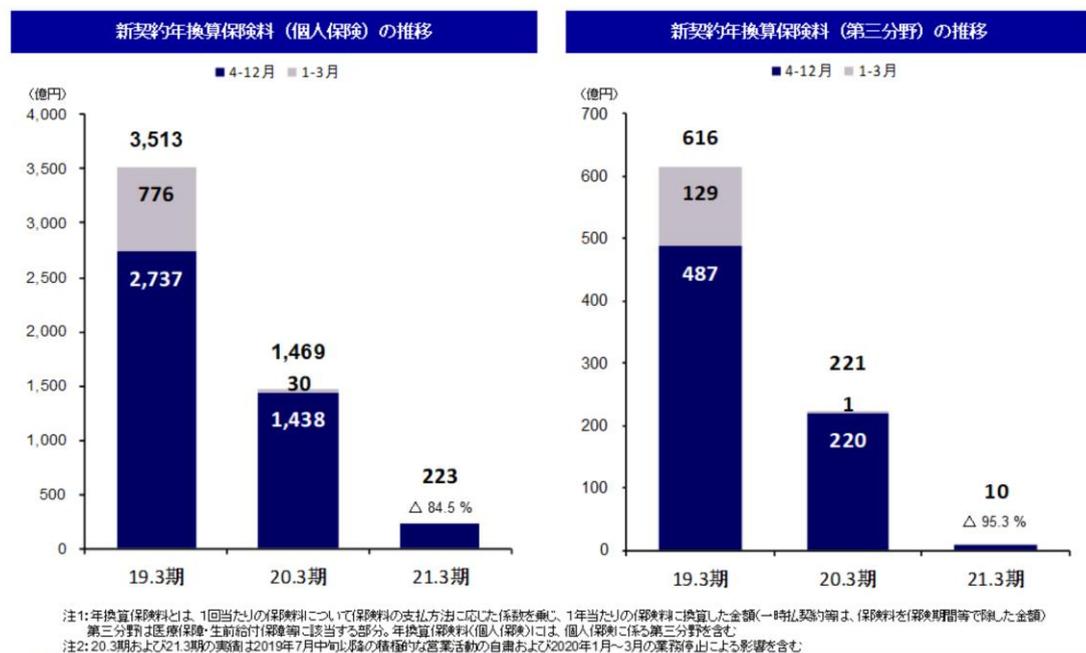
- 順ざやが減少したものの、新契約の減少に伴う事業費の減少等により保険関係損益が前年同期を大きく上回った結果、基礎利益は前年同期を上回る3,097億円となった
- キャピタル損益に対しては、その相当額の価格変動準備金を繰り入れる、または取り崩す会計処理を継続して実施。基礎利益の増加等に伴い、四半期純利益は前年同期を上回る1,284億円となった



1. 事業費の減少等については、損益計算書における事業費とその他経常費用の合計につき、前期との数値の差分を計算したものの、ただし、保険金等支払引当金等の影響は、「引当金の影響」の項目に調整している
2. 契約調査の進捗等を見積りに反映したことによる、保険金等支払引当金の戻入等の保険関係損益への影響額。20.3期3Qにおける保険金等支払引当金等の影響を加味している(21.3期3Q戻入額等:50億円、20.3期3Q繰入額等:47億円)

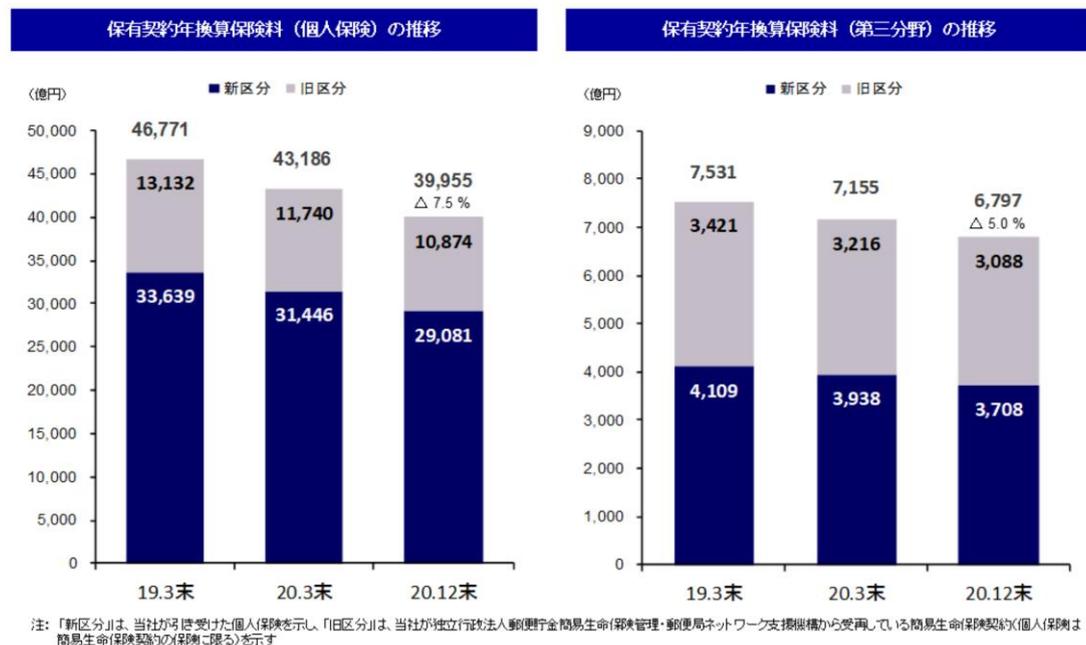
- ここでは、2021年3月期第3四半期の業績の変動要因を記載しています。
- 順ざやが減少したものの、新契約の減少に伴う事業費の減少等により、基礎利益は前年同期を上回る3,097億円となりました。
- 基礎利益の増加およびキャピタル損益の改善等により、単体ベースでの経常利益は2,600億円、四半期純利益は1,284億円となりました。
- 4ページをご覧ください。

契約の状況〔新契約年換算保険料〕



- ここからは、契約の状況についてご説明します。
- 当社は、2019年7月中旬までは通常営業を行っておりましたが、第3四半期は昨年度から引き続き積極的な営業活動の自粛をしていたことから、個人保険の新契約年換算保険料は、前年同期比84.5%減の223億円、第三分野の新契約年換算保険料は、前年同期比95.3%減の10億円となりました。
- 5ページをご覧ください。

契約の状況〔保有契約年換算保険料〕



- 個人保険の保有契約年換算保険料は3兆9,955億円となり、前期末から7.5%減少しました。
- 第三分野の保有契約年換算保険料は6,797億円となり、前期末から5.0%減少しました。
- 6ページをご覧ください。

資産運用の状況〔資産構成〕

| 資産構成 | | | | | | 順ざや・利回り | | | |
|---------------------|---------|--------|---------|--------|---------|---------------------|----------|----------|---------------|
| | 20.3末 | | 20.12末 | | 増減額 | | 20.3期 3Q | 21.3期 3Q | (参考) 20.3期 |
| | 金額 | 占率 | 金額 | 占率 | | | | | |
| 公社債 | 488,306 | 68.1% | 482,678 | 69.3% | △5,628 | | | | |
| 国債 | 367,307 | 51.3% | 370,428 | 53.2% | 3,120 | 順ざや | 503 | 413 | 804 |
| 地方債 | 67,287 | 9.4% | 60,063 | 8.6% | △7,224 | 平均予定利率 ¹ | 1.69% | 1.69% | 1.69% |
| 社債 | 53,711 | 7.5% | 52,185 | 7.5% | △1,525 | 利子利回り ² | 1.80% | 1.78% | 1.82% |
| 収益追求資産 ¹ | 99,386 | 13.9% | 107,349 | 15.4% | 7,962 | キャピタル損益 | △574 | △420 | △1,024 |
| 国内株式 ² | 17,651 | 2.5% | 22,900 | 3.3% | 5,248 | | | | |
| 外国株式 ² | 3,235 | 0.5% | 4,318 | 0.6% | 1,083 | | | | |
| 外国債券 ² | 64,451 | 9.0% | 65,292 | 9.4% | 840 | | | | |
| その他 ³ | 14,048 | 2.0% | 14,838 | 2.1% | 790 | | | | |
| 貸付金 | 56,627 | 7.9% | 53,165 | 7.6% | △3,462 | | | | |
| その他 | 72,327 | 10.1% | 53,647 | 7.7% | △18,679 | | | | |
| うち現預金・コールローン | 17,902 | 2.5% | 10,799 | 1.5% | △7,103 | | | | |
| うち債券貸借取引 支払保証金 | 31,917 | 4.5% | 22,840 | 3.3% | △9,076 | | | | |
| 総資産 | 716,647 | 100.0% | 696,840 | 100.0% | △19,807 | | | | |

1. 収益追求資産は、貸付対照表上「金銭の信託および有価証券」に計上している資産のうち、資産運用目的で保有する国内外の株式、外貨建債券、投資信託等を対象としている

2. 「国内株式」、「外国株式」および「外国債券」は、個別銘柄の株式・債券のほか、それぞれの資産のみを投資対象とする投資信託を含む

3. バンクローン、マルチアセット、不動産ファンド等

1. 平均予定利率は、予定利息の一般勘定経過責任準備金に対する利回り

2. 利子利回りは、基礎利益上の運用収支等の一般勘定経過責任準備金に対する利回り

- 資産運用の状況についてご説明します。
- 当社の資産運用は、円金利資産と円金利負債のマッチングを図るALMの観点から、公社債が中心となっています。
- 左の表のとおり、昨今の超低金利環境の継続を受け、運用資産の多様化を進めてきた結果、株式・外国債券などの収益追求資産の残高は10兆7,349億円、総資産比で15.4%となりました。
- 右の表のとおり、平均予定利率は、1.69%となりました。また、利子利回りは1.78%となり、413億円の順ざやを確保しました。
- また、為替変動リスクのヘッジに伴う金融派生商品費用は前年から減少したものの、2020年2月以降、コロナショックにより市場が大きく混乱した影響を受け、金銭の信託で保有する株式の減損が生じたこと等により、キャピタル損益は420億円の損失となりました。
- 7ページをご覧ください。

資産運用の状況〔有価証券の時価情報〕

有価証券の時価情報

(億円)

| | 20.3末 | | | 20.12末 | | | 増減額 | | |
|-------------------|---------|---------|--------|---------|---------|--------|---------|----------|---------|
| | 帳簿価額 | 時価 | 差損益 | 帳簿価額 | 時価 | 差損益 | 帳簿価額 | 時価 | 差損益 |
| 合計 | 590,841 | 666,758 | 75,916 | 582,911 | 660,266 | 77,354 | △ 7,930 | △ 6,491 | 1,438 |
| 満期保有目的の債券 | 357,357 | 419,533 | 62,176 | 353,157 | 408,831 | 55,674 | △ 4,199 | △ 10,701 | △ 6,502 |
| 責任準備金対応債券 | 95,746 | 105,785 | 10,038 | 95,938 | 104,500 | 8,562 | 192 | △ 1,284 | △ 1,476 |
| その他有価証券 | 137,737 | 141,439 | 3,701 | 133,815 | 146,933 | 13,118 | △ 3,922 | 5,494 | 9,417 |
| 有価証券等 | 111,025 | 113,996 | 2,970 | 106,982 | 112,994 | 6,012 | △ 4,043 | △ 1,001 | 3,041 |
| 公社債 | 37,004 | 37,421 | 417 | 34,770 | 35,280 | 510 | △ 2,233 | △ 2,140 | 92 |
| 国内株式 | 3,220 | 2,812 | △ 408 | 3,209 | 3,638 | 429 | △ 11 | 825 | 837 |
| 外国証券 | 42,216 | 45,893 | 3,676 | 41,235 | 45,399 | 4,164 | △ 981 | △ 493 | 487 |
| その他の証券 | 20,068 | 19,332 | △ 735 | 19,110 | 20,001 | 891 | △ 958 | 668 | 1,626 |
| 預金等 | 8,515 | 8,535 | 20 | 8,656 | 8,674 | 17 | 140 | 138 | △ 2 |
| 金銭の信託 | 26,712 | 27,443 | 730 | 26,832 | 33,939 | 7,106 | 120 | 6,496 | 6,375 |
| 国内株式 ¹ | 13,879 | 14,839 | 959 | 13,993 | 19,261 | 5,268 | 113 | 4,422 | 4,308 |
| 外国株式 ¹ | 2,972 | 3,235 | 262 | 3,020 | 4,318 | 1,297 | 48 | 1,083 | 1,034 |
| 外国債券 ¹ | 7,360 | 6,984 | △ 375 | 7,411 | 7,912 | 501 | 51 | 927 | 876 |
| その他 ² | 2,500 | 2,383 | △ 116 | 2,407 | 2,446 | 38 | △ 92 | 62 | 155 |

注：本表には、時価のある有価証券のみを記載。また、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含む。
 1. 「国内株式」、「外国株式」および「外国債券」は、個別銘柄の株式・債券のほか、それぞれの資産のみを投資対象とする投資信託を含む。
 2. 現預金、バンクローン、不動産ファンド



Copyright© JAPAN POST INSURANCE All Rights Reserved.

7

- 有価証券の時価および含み損益の状況をお示ししています。
- 今期は、2020年3月末と比較して、市場環境が改善したため、会計上、時価評価されるその他有価証券の差損益は、1兆3,118億円の含み益を計上しております。
- 8ページをご覧ください。

経費の状況

事業費（委託手数料等）

（億円）

| | 20.3期 3Q | 21.3期 3Q | 増減額 | （参考）20.3期 |
|-----------------------|----------|----------|-------|-----------|
| 事業費 | 3,688 | 3,025 | △ 662 | 4,738 |
| 委託手数料 | 2,007 | 1,519 | △ 488 | 2,487 |
| 新契約手数料 | 869 | 342 | △ 527 | 1,009 |
| 維持・集金手数料 ² | 1,138 | 1,177 | 38 | 1,478 |
| 拠出金 ³ | 431 | 420 | △ 11 | 575 |
| その他 | 1,248 | 1,085 | △ 162 | 1,674 |
| 減価償却費 | 423 | 447 | 24 | 574 |

1. 日本郵便株式会社に対する委託手数料

2. 21.3期は、維持・集金手数料の単価の見直しを2021年1月に実施し、2020年4月に遡って計上

3. 独立行政法人郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構法に基づき、郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構に支払う拠出金

- 経費の状況についてご説明します。
- 事業費は、3,025億円となり、このうち、2/3程度を日本郵便へ支払う委託手数料および郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構に支払う拠出金が占めています。
- 委託手数料は、契約獲得実績に応じて支払う新契約手数料と、保全・支払業務等に応じて支払う維持・集金手数料等で構成されています。
- 2019年7月中旬以降の積極的な営業活動の自粛および2020年1月から3月までの業務停止の影響から、委託手数料は、前年同期比488億円減の1,519億円となりました。
- 拠出金を含めた総額は、前年同期比499億円減の1,940億円となりました。
- また、減価償却費は、前年同期比24億円増の447億円となりました。
- 9ページをご覧ください。

健全性の状況

内部留保等の積立状況

(億円)

| | 20.3末 | 20.12末 | 当期繰入額 |
|---------|--------|--------|---------|
| 危険準備金 | 17,973 | 18,050 | 76 |
| 旧区分 | 13,206 | 13,249 | 42 |
| 新区分 | 4,766 | 4,801 | 34 |
| 価格変動準備金 | 8,583 | 8,637 | 53 |
| 旧区分 | 6,319 | 6,253 | △ 66 |
| 新区分 | 2,263 | 2,384 | 120 |
| 追加責任準備金 | 58,303 | 56,690 | △ 1,613 |
| 旧区分 | 58,202 | 56,611 | △ 1,590 |
| 新区分 | 100 | 78 | △ 22 |

注: 「旧区分」は簡易生命(保険契約)区分を源泉とする金額、「新区分」はかんぽ生命全体から「旧区分」を差し引いた金額

連結ソルベンシー・マージン比率

(億円)

| | 20.3末 | 20.12末 |
|-----------------|-----------|-----------|
| 連結ソルベンシー・マージン比率 | 1,070.9 % | 1,156.7 % |
| ソルベンシー・マージン総額 | 51,616 | 60,689 |
| リスクの合計額 | 9,638 | 10,493 |

- 健全性の状況についてご説明します。
- 経営環境の変化に伴うリスクに備え、将来にわたり健全で安定的な経営を確保するため、危険準備金1兆8,050億円、価格変動準備金8,637億円を積み立てています。
- 将来の逆ざや等を補う目的で積み立てている追加責任準備金は、5兆6,690億円となっています。
- 連結ソルベンシー・マージン比率は1,156.7%と、引き続き高い健全性を維持しています。
- 10ページをご覧ください。

EVの状況

EV

| (億円) | | | |
|--------|--------|---------------------|---------------------|
| | 20.3末 | 20.12末 ¹ | 増減額 (前期末比) |
| EV | 33,242 | 39,189 | 5,946 (+ 17.9 %) |
| 修正純資産 | 22,124 | 23,491 | 1,367 (+ 6.2 %) |
| 保有契約価値 | 11,118 | 15,698 | 4,579 (+ 41.2 %) |

新契約価値

21.3期第3四半期の新契約価値^{1,2} △ 28億円
 新契約マージン^{1,2,3} △ 1.5 %

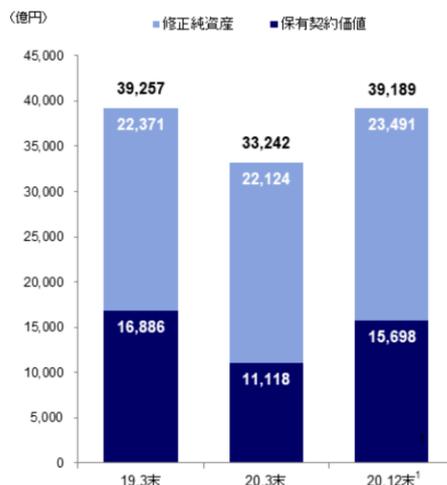
- 当社は当該期間において積極的な保険商品のご提案を控えさせていただいている一方、新契約獲得にはその多寡によらない一定の事業費等が必要となるため、新契約価値はマイナスになっている

1. 第三者の検証を受けていない試算値

2. 2020年4月から2020年12月までの新契約をベースに2020年12月末の経済前提を使用。特約の切替加入および条件付解約による価値の増減分を含む

3. 新契約価値を将来の保険料収入の現在価値で除したもの

EVの推移



- EVの状況についてご説明します。
- 当期末のEVは3兆9,189億円となり、前期末から5,946億円増加しました。
- 修正純資産は、主に純利益により、前期末比1,367億円増の2兆3,491億円となりました。
- 保有契約価値は、主に金利および株価の上昇等により、前期末比4,579億円増の1兆5,698億円となりました。
- 当期の新契約価値は、4～12月の金利水準の平均に近い、2020年12月末の経済前提を用いて算出しております。
- 新契約価値は、当該期間において積極的な保険商品のご提案を控えさせていただいていた一方、新契約獲得にはその多寡によらない一定の事業費等が必要となるため、マイナス28億円となりました。また、新契約マージンはマイナス1.5%となりました。
- 第3四半期のEVおよび新契約価値は、第三者の検証を受けていない試算値であることにご留意ください。
- 11ページをご覧ください。

21年3月期 連結業績予想の修正

連結業績予想

(億円)

| | 21.3期 (修正前予想) | 21.3期 (修正後予想) | 増減額 |
|--------------------|------------------|------------------|---------|
| 経常収益 | 68,500 | 67,500 | △ 1,000 |
| 経常利益 | 2,000 | 3,000 | + 1,000 |
| 当期純利益 ¹ | 1,240 | 1,570 | + 330 |
| 1株当たり 当期純利益 | 220.47円 | 279.15円 | - |
| 1株当たり 配当金 | 76円 期末配当76円 | 76円 期末配当76円 | - |

【修正理由】

【経常収益】

経常収益は、当初業績予想策定時と比較して運用環境が好転した一方で、解約が想定よりも減少していることおよび危険準備金の超過繰入れを見込んでいることにより責任準備金戻入額の減少を見込んでいることから下方修正します。

【経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益】

経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、危険準備金の超過繰入れを見込んでいるものの、当初業績予想策定時と比較して運用環境が好転したこと、保険金等の支払いが想定よりも減少することなどにより保険関係損益の増加が見込まれることを理由に、上方修正します。

1. 親会社株主に帰属する当期純利益
2. 2020年5月15日に当初業績予想を公表。当初業績予想の策定に当たっては、2020年3月末の経済前提を使用
3. 旧区分において2021年3月末に危険準備金を財源とした追加責任準備金の積立てと、危険準備金の積立水準の回復を図るための基準額を超える繰入れを予定している。ただし、関係当局に認可申請を行い、認可を取得することが前提

- 2021年3月期の連結業績予想の修正についてご説明します。
- 経常収益は、当初業績予想策定時と比較して運用環境が好転した一方で、解約が想定よりも減少していること、および危険準備金の超過繰入れを見込んでいることにより、責任準備金戻入額の減少を見込んでいることから下方修正いたします。
- 経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、危険準備金の超過繰入れを見込んでいるものの、当初業績予想策定時と比較して運用環境が好転したこと、保険金等の支払いが想定よりも減少することなどにより保険関係損益の増加が見込まれることを理由に、上方修正いたします。
- 12ページをご覧ください。

21年3月期 連結業績予想

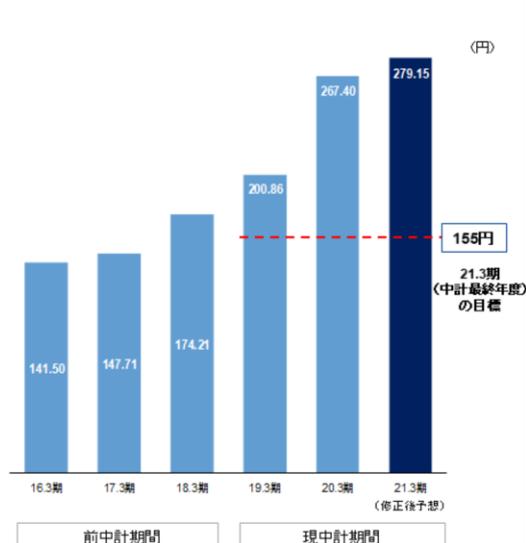
連結業績予想

(億円)

| | 21.3期 3Q | 21.3期 (修正後予想) | 進捗率 |
|---------------------|-------------|------------------|-------|
| 経常収益 | 51,273 | 67,500 | 76.0% |
| 経常利益 | 2,608 | 3,000 | 87.0% |
| 当期純利益 ¹⁾ | 1,290 | 1,570 | 82.2% |
| 1株当たり 当期純利益 | 229.39円 | 279.15円 | 82.2% |

1. 親会社株主に帰属する当期純利益

1株当たり当期純利益の推移



- 連結業績予想の進捗についてご説明いたします。
- 上方修正後の業績予想に対する進捗率はそれぞれ、経常収益が76.0%、経常利益が87.0%、当期純利益が82.2%となりました。
- なお、修正後の業績予想において、2021年3月末に危険準備金の超過繰入れを見込んでいることから、経常利益、当期純利益ともに高い進捗となっております。
- 13ページをご覧ください。

株主還元

株主還元方針

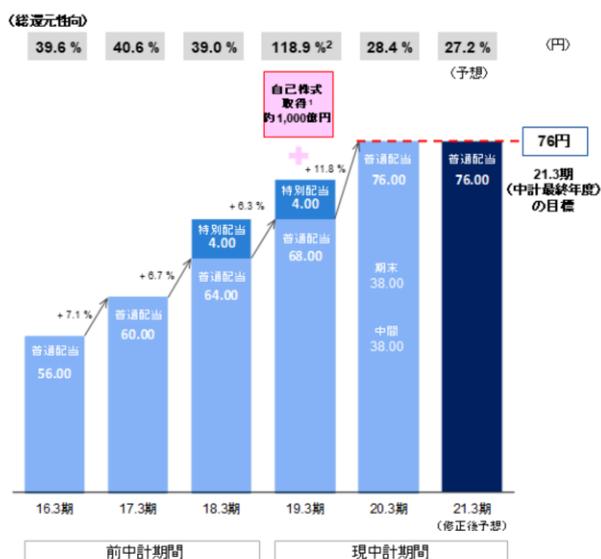
- 株主に対する利益の還元を経営上重要な施策の一つとして位置づけ
- 今後の利益見通し、財務の健全性を考慮しつつ、安定的な1株当たり配当を目指す

21年3月期の株主還元等

- 普通配当を1株につき76円（予想）とする
- 新型コロナウイルスの感染拡大の影響を慎重に見極める必要があるため、中間配当は行わず、期末配当のみとする予定

（当社は本日、業績予想の修正を実施いたしましたが、配当予想については、2020年5月15日の公表値76円からの変更はございません）

株主還元の推移



1. 2019年4月に自己株式の取得を実施
2. 1に記載の自己株式の取得を含めた総還元性向

- 最後に、株主還元（DPS等）につきまして、その推移をお示ししております。
- 配当予想については、2020年5月15日の公表値76円からの変更はございません。
- 以上で説明を終わります。

APPENDIX

連結貸借対照表（要約）

連結貸借対照表（要約）

（億円）

| | 20.3末 | 20.12末 | 増減額 |
|---------|---------|---------|----------|
| 資産 | 716,647 | 696,840 | △ 19,807 |
| 現金及び預貯金 | 14,102 | 9,599 | △ 4,503 |
| 金銭の信託 | 30,560 | 38,039 | 7,478 |
| 有価証券 | 558,705 | 553,617 | △ 5,087 |
| 貸付金 | 56,627 | 53,165 | △ 3,462 |
| 有形固定資産 | 1,102 | 1,053 | △ 48 |
| 無形固定資産 | 1,350 | 1,158 | △ 191 |
| 繰延税金資産 | 11,737 | 9,137 | △ 2,600 |

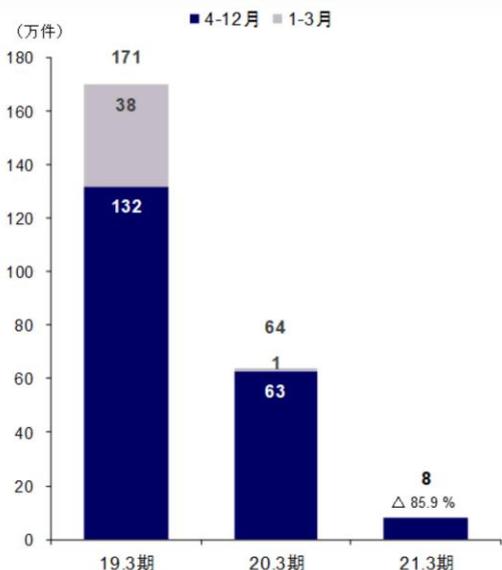
| | 20.3末 | 20.12末 | 増減額 |
|-------------------|---------|---------|----------|
| 負債 ¹ | 697,364 | 669,723 | △ 27,640 |
| 責任準備金 | 622,931 | 601,052 | △ 21,878 |
| うち危険準備金 | 17,973 | 18,050 | 76 |
| うち追加責任準備金 | 58,303 | 56,690 | △ 1,613 |
| 社債 | 1,000 | 1,000 | - |
| 価格変動準備金 | 8,583 | 8,637 | 53 |
| 純資産 | 19,283 | 27,116 | 7,832 |
| 株主資本合計 | 16,612 | 17,689 | 1,076 |
| 資本金 | 5,000 | 5,000 | - |
| 資本剰余金 | 4,050 | 4,050 | - |
| 利益剰余金 | 7,566 | 8,643 | 1,076 |
| 自己株式 | △ 4 | △ 3 | 0 |
| その他の包括利益 累計額合計 | 2,670 | 9,427 | 6,756 |

注：主な勘定科目を掲載

1. 保険金等支払引当金(20.3末 297億円、20.12末 46億円、増減額 △250億円)を含む

契約の状況〔新契約件数〕

新契約件数（個人保険）の推移



注：20.3期および21.3期の実績は2019年7月中旬以降の積極的な営業活動の自粛および2020年1月～3月の業務停止による影響を含む。

JP INSURANCE **かんぽ生命**

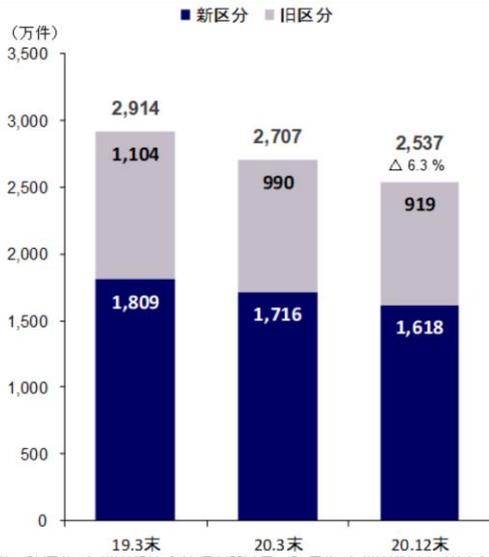
新契約の内訳

| | 20.3期 3Q | | 21.3期 3Q | |
|-----------------------|----------|--------|----------|--------|
| | 件数 | 占率 | 件数 | 占率 |
| 個人保険 | 63 | 100.0% | 8 | 100.0% |
| 養老 | 33 | 53.0% | 6 | 72.9% |
| 普通養老 | 18 | 28.7% | 4 | 53.9% |
| 普通養老 (引受基準 緩和型) | 3 | 5.3% | 0 | 1.3% |
| 特別養老 | 12 | 18.9% | 1 | 17.8% |
| 終身 | 25 | 39.7% | 0 | 9.7% |
| 普通終身 (定額型) | 6 | 9.5% | 0 | 2.2% |
| 普通終身 (引受基準 緩和型) | 6 | 10.2% | 0 | 0.5% |
| 普通終身 (倍型) | 10 | 16.2% | 0 | 5.4% |
| 特別終身 | 2 | 3.9% | 0 | 1.6% |
| 学資 | 4 | 7.2% | 1 | 17.2% |
| その他 | 0 | 0.1% | 0 | 0.2% |

注：主な商品を搭載

契約の状況〔保有契約件数〕

保有契約件数（個人保険）の推移



注：「新区分」は、当社が引き受けた個人保険を示し、「旧区分」は、当社が独立行政法人郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構から受再している簡易生命保険契約（保険）を示す



保有契約の内訳

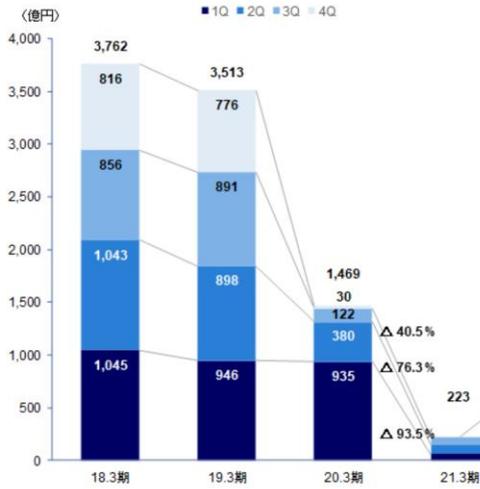
(万件)

| | 20.3末 | | 20.12末 | |
|---------------|-------|--------|--------|--------|
| | 件数 | 占率 | 件数 | 占率 |
| 個人保険 | 2,707 | 100.0% | 2,537 | 100.0% |
| 養老 | 1,041 | 38.5% | 937 | 36.9% |
| 普通養老 | 668 | 24.7% | 602 | 23.7% |
| 普通養老（引受基準緩和型） | 3 | 0.1% | 3 | 0.1% |
| 特別養老 | 363 | 13.4% | 329 | 13.0% |
| 終身 | 1,259 | 46.5% | 1,219 | 48.1% |
| 普通終身（定額型） | 393 | 14.5% | 377 | 14.9% |
| 普通終身（引受基準緩和型） | 5 | 0.2% | 5 | 0.2% |
| 普通終身（倍型） | 273 | 10.1% | 265 | 10.4% |
| 特別終身 | 585 | 21.6% | 570 | 22.5% |
| 学資 | 393 | 14.5% | 367 | 14.5% |
| その他 | 13 | 0.5% | 13 | 0.5% |

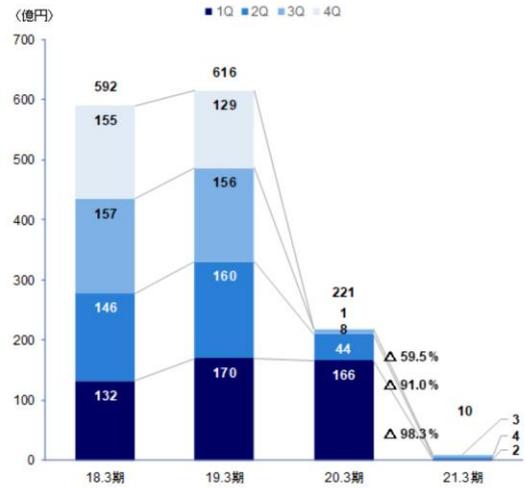
注：主な商品を掲載

新契約年換算保険料の四半期推移

新契約年換算保険料（個人保険）の推移



新契約年換算保険料（第三分野）の推移

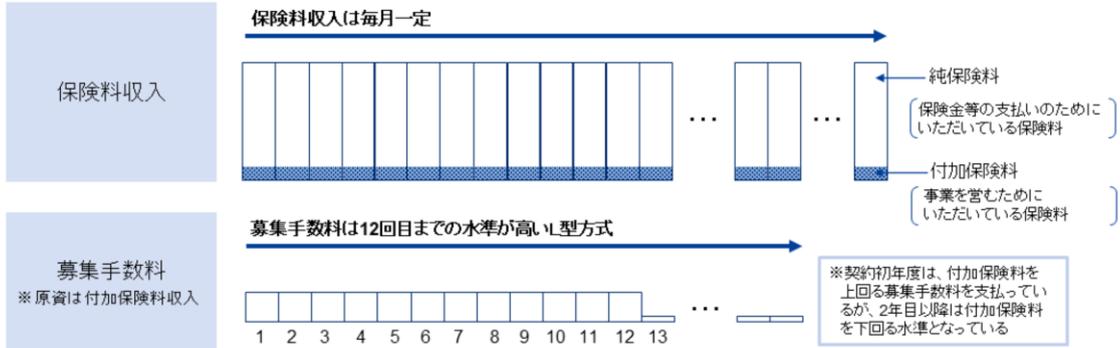


注1: 年換算保険料とは、1回当たりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年当たりの保険料に換算した金額（一時払契約等は、保険料を保険期間等で除した金額）
 第三分野は医療（保険・生前給付）第9章に該当する部分。年換算保険料（個人保険）には、個人保険に係る第三分野を含む。
 注2: 20.3期および21.3期の実績は2019年7月中旬以降の積極的な営業活動の自粛および2020年1月～3月の業務停止による影響を含む。

営業実績が低迷することによる損益への影響

- お客さまからいただく保険料のうち、かんぽ生命が事業を営むためにいただいている付加保険料は、毎月一定額をいただいている。この付加保険料を原資として、毎月、日本郵便に募集手数料を支払っているが、その支払方法は、12回目までの水準が高いL型方式であるため、新規契約が増加するほど、かんぽ生命の損益は悪化する
- 新規契約が大幅に減少した場合、事業費等の減少が、かんぽ生命の損益の増加の一因となる。ただし、これは短期的な影響であり、中長期的に見れば、新規契約の減少はかんぽ生命の損益にマイナスの影響を及ぼす

<保険料の収納と募集手数料の支払のイメージ(契約1件のモデル)>



利配収入およびキャピタル損益の状況

資産運用収益の内訳

| | 20.3期 3Q | 21.3期 3Q | (億円) (参考) 20.3期 |
|------------|----------|----------|-----------------------|
| 資産運用収入 | 8,674 | 8,012 | 11,377 |
| 利息及び配当金等収入 | 7,934 | 7,530 | 10,498 |
| 預貯金利息 | 0 | 0 | 0 |
| 有価証券利息・配当金 | 6,979 | 6,722 | 9,240 |
| 公社債利息 | 5,753 | 5,519 | 7,620 |
| 株式配当金 | 37 | 44 | 76 |
| 外国証券利息配当金 | 999 | 851 | 1,297 |
| その他 | 188 | 307 | 246 |
| 貸付金利息 | 110 | 100 | 146 |
| 機構貸付利息 | 807 | 662 | 1,058 |
| 不動産賃貸料 | - | - | - |
| その他利息配当金 | 36 | 44 | 51 |

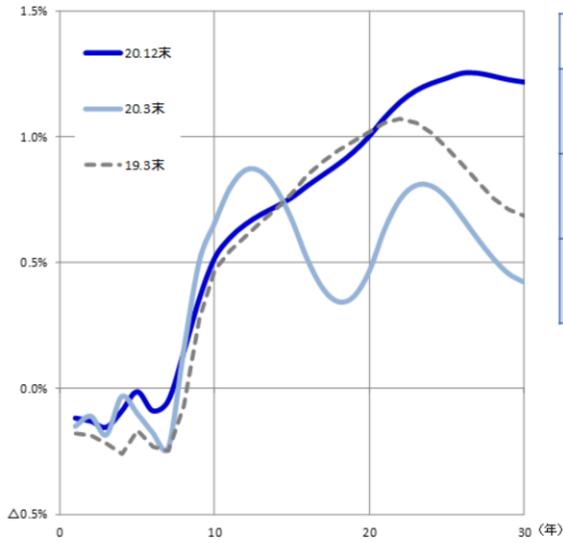
キャピタル損益の内訳

| | 20.3期 3Q | 21.3期 3Q | (億円) (参考) 20.3期 |
|-------------------------|----------|----------|-----------------------|
| キャピタル収益 | 734 | 472 | 872 |
| 金銭の信託運用益 | 443 | 276 | 515 |
| 有価証券売却益 | 290 | 169 | 356 |
| 金融派生商品収益 | - | - | - |
| 為替差益 | - | 26 | - |
| その他キャピタル収益 | - | - | - |
| キャピタル費用 | △ 1,308 | △ 892 | △ 1,896 |
| 金銭の信託運用損 | - | - | - |
| 有価証券売却損 | △ 201 | △ 241 | △ 320 |
| 有価証券評価損 | - | - | △ 26 |
| 金融派生商品費用 | △ 598 | △ 166 | △ 747 |
| 為替差損 | △ 23 | - | △ 20 |
| その他キャピタル費用 ¹ | △ 484 | △ 484 | △ 780 |
| キャピタル損益 | △ 574 | △ 420 | △ 1,024 |

1. 「その他キャピタル費用」は、金銭の信託に係るインカム・ゲインに相当する額を計上

金利（EVの前提条件）¹の変動

フォワード・レート（19.3-20.12）



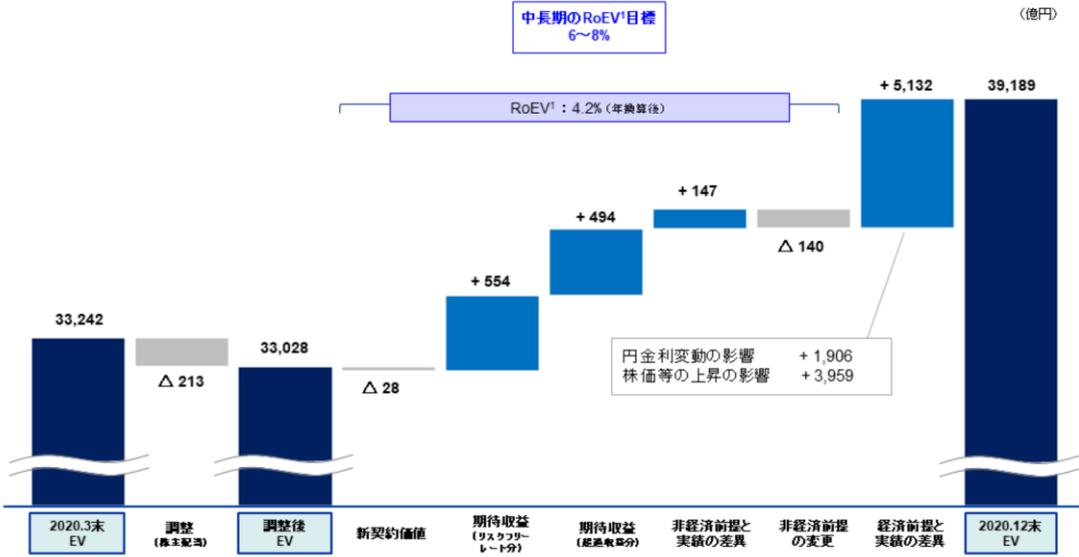
フォワード・レートの推移

| | 19.3末 | 20.3末 [㊦] | 20.12末 [㊦] |
|-----|---------|--------------------|---------------------|
| 10年 | 0.471 % | 0.657 % | 0.516 % |
| 20年 | 1.017 % | 0.466 % | 1.001 % |
| 30年 | 0.683 % | 0.422 % | 1.216 % |

注：EVおよび新契約価値の計算に用いた経済前提は以下のとおり
 2020年3月末EV：[㊦]
 2021年3月期3Qの新契約価値：[㊦]
 2020年12月末EV：[㊦]

1. 金利（EVの前提条件）は、財務省公表の国債の流通利回りを基に作成したフォワード・レートを使用

EVの変動要因



注1: 第三者の検証を受けていない試算値

注2: 将来の死亡率、失効解約率、事業費前提等について、2020年3月末のEVと同じ前提を使用

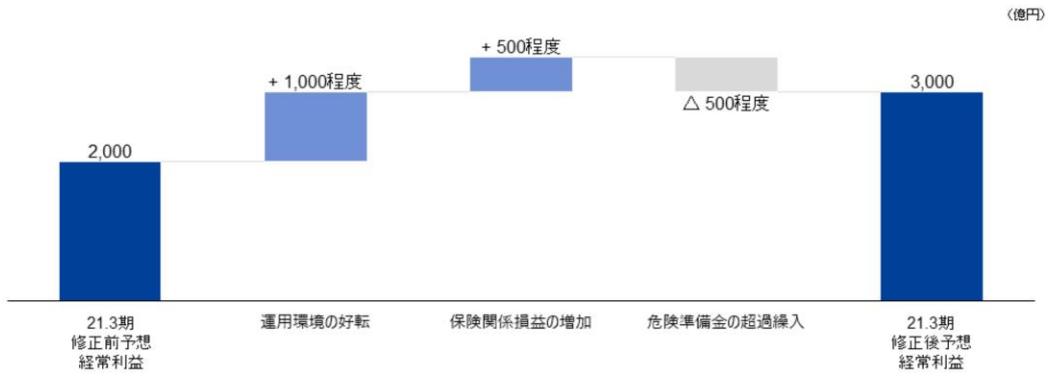
1. EVの変動要因から「経済前提と実績の差異」を除いた値

21年3月期 連結業績予想の修正（経常利益の変動要因）

■ 予想経常利益を2,000億円から3,000億円に上方修正

【修正理由】

- ①当初業績予想策定時¹と比較して運用環境が好転したこと
- ②保険金等の支払いが想定よりも減少することなどにより保険関係利益の増加が見込まれること
- ③危険準備金の超過繰入れ²を見込んでいること



1. 2020年5月15日に当初業績予想を公表。当初業績予想の策定に当たっては、2020年3月末の経済前提を使用
2. 旧区分において2021年3月末に危険準備金を財源とした追加責任準備金の積立てと、危険準備金の積立水準の回復を図るための基準額を超える繰入れを予定している。ただし、関係当局に認可申請を行い、認可を取得することが前提

新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴う取扱い

■ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が、個人の生活や企業経営等に多大な影響を与えている中、当社は生命保険会社としての社会的使命を果たすため、金融機能の維持や顧客保護の観点から、保険金の支払い等、必要な業務を継続できる体制を維持するとともに、お客さまを支える取り組みを実施

お客さまを支える主な取り組み

| | |
|----------------|---|
| 保険料の非常取扱い | <ul style="list-style-type: none"> ■ 保険料の払込猶予期間の延伸（最長9か月） ■ 払込猶予期間分の保険料の分割払込みの取扱い 【2020年12月30日まで実施】 |
| 保険金の非常取扱い等 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 新型コロナウイルスの影響等による医療機関の事情により次のような場合も医師の証明書等をご提出いただくことで入院保険金の支払い対象として取扱い <ul style="list-style-type: none"> ・ 都道府県が用意した宿泊施設等において療養した場合や自宅療養した場合 ・ 入院による治療が必要であったにもかかわらず入院できなかった場合、または当初の予定より早い退院を余儀なくされた場合 ■ 新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた場合、死亡保険金に加えて「保険金の倍額支払」の対象とする取扱いを実施 ■ 請求時等の必要書類の一部省略 |
| 貸付利率の非常取扱い | <ul style="list-style-type: none"> ■ 普通貸付金に適用する利率の減免（利率0%） 【2020年6月30日まで実施】 |
| 非対面での一部請求受付の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 非対面での請求ニーズの高まりを受け、お客さまからの要望に応じて入院保険金請求の郵送受付（お客さまと郵便局・支店の間での郵送による書類の授受）およびマイページからの請求受付を実施 ■ 保険料払込猶予期間の延伸について、かんぽWebサイト、コールセンター、郵便局・支店での電話受付を実施 |

【参考】取扱い実施件数（12月末時点）

| 項目 | 件数 | 金額 |
|---------------|---------|---|
| 保険料の払込猶予期間の延伸 | 16,113件 | — |
| 保険金の支払状況 | 入院保険金 | 4,900件 3億3,790万円 |
| | 死亡保険金 | 433件 ※倍額支払は429件 15億2,457万円 ※倍額支払含む |
| 普通貸付（利息の減免） | 31.4万件 | 1,345億円 |

新旧区分別 損益計算書 (単体)

新旧区分別 損益計算書 (単体)

(億円)

| | 17.3期 | | 18.3期 | | 19.3期 | | 20.3期 | | 20.3期 3Q | | 21.3期 3Q | |
|------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|--------|----------|--------|
| | 新区分 | 旧区分 | 新区分 | 旧区分 | 新区分 | 旧区分 | 新区分 | 旧区分 | 新区分 | 旧区分 | 新区分 | 旧区分 |
| 経常収益 ¹ | 44,642 | 68,892 | 39,388 | 54,892 | 38,147 | 43,744 | 35,826 | 36,586 | 26,755 | 27,880 | 27,239 | 24,037 |
| 保険料等収入 | 40,390 | 10,028 | 34,812 | 7,552 | 33,695 | 5,903 | 27,863 | 4,591 | 21,733 | 3,523 | 17,737 | 2,789 |
| 資産運用収益 ¹ | 4,228 | 9,450 | 4,546 | 8,303 | 4,401 | 7,643 | 4,412 | 6,965 | 3,370 | 5,303 | 3,272 | 4,743 |
| その他経常収益 ¹ | 23 | 49,413 | 30 | 39,037 | 49 | 30,198 | 3,549 | 25,030 | 1,652 | 19,053 | 6,229 | 16,504 |
| 経常費用 ¹ | 43,701 | 67,040 | 37,671 | 53,522 | 36,635 | 42,604 | 33,882 | 35,661 | 25,217 | 27,076 | 25,329 | 23,346 |
| 保険金等支払金 | 11,365 | 64,137 | 17,656 | 51,243 | 28,379 | 40,309 | 28,420 | 33,493 | 21,285 | 25,525 | 22,272 | 22,081 |
| 責任準備金等繰入額 ¹ | 26,940 | - | 14,747 | - | 2,725 | - | 299 | - | 21 | - | 0 | - |
| 資産運用費用 ¹ | 1,038 | 565 | 785 | 279 | 991 | 468 | 857 | 382 | 645 | 268 | 461 | 73 |
| 専業費 | 3,665 | 1,936 | 3,728 | 1,599 | 3,762 | 1,421 | 3,363 | 1,358 | 2,657 | 1,017 | 2,074 | 948 |
| その他経常費用 | 690 | 400 | 752 | 398 | 777 | 404 | 942 | 427 | 607 | 265 | 522 | 243 |
| 経常利益 | 940 | 1,852 | 1,717 | 1,370 | 1,511 | 1,139 | 1,943 | 924 | 1,538 | 804 | 1,909 | 690 |
| 特別損益 ² | 57 | △ 126 | △ 272 | △ 170 | 138 | 36 | 93 | 298 | 8 | 91 | △ 121 | 66 |
| 契約者配当準備金繰入額 | 156 | 1,370 | 216 | 961 | 196 | 921 | 154 | 937 | 116 | 696 | 137 | 547 |
| 税引前当期純利益 | 842 | 365 | 1,229 | 238 | 1,453 | 255 | 1,882 | 285 | 1,430 | 198 | 1,650 | 209 |
| 法人税等合計 | 217 | 95 | 354 | 69 | 411 | 87 | 549 | 107 | 405 | 68 | 463 | 112 |
| 当期純利益 (又は当期純損失) | 624 | 260 | 874 | 168 | 1,041 | 167 | 1,333 | 178 | 1,025 | 130 | 1,187 | 97 |

注:「旧区分」は簡易生命(契約区分を源泉とする数値、「新区分」はかんぽ生命全体から「旧区分」を差し引いた数値

1.かんぽ生命全体から「旧区分」を差し引いた際に、「新区分」の実績がマイナスとなる場合、調整を実施していることから、「旧区分」と「新区分」の合計がかんぽ生命全体の数値と一致しない
(例: 21.3期3Qは、「資産運用収益」内の「為替差益」および「資産運用費用」内の「為替差損」に、それぞれ3億円を加算)

2.特別損益には「価格変動準備金繰入額」、「価格変動準備金戻入額」を含む

新旧区分別実績（単体）

| | 17.3期 | 18.3期 | 19.3期 | 20.3期 | 20.3期 3Q | 21.3期 3Q | |
|-------------------|-------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 総資産 | 百万円 | 80,336,414 | 76,832,508 | 73,904,576 | 71,667,398 | 71,882,635 | 69,683,604 |
| 旧区分 | | 51,447,550 | 46,684,937 | 41,354,076 | 39,225,493 | 39,567,643 | 37,869,228 |
| 新区分 | | 28,888,864 | 30,147,570 | 32,550,500 | 32,441,904 | 32,314,991 | 31,814,376 |
| 保有契約件数 | 千件 | 31,562 | 30,405 | 29,143 | 27,070 | 27,738 | 25,377 |
| 旧区分（保険） | | 14,411 | 12,484 | 11,048 | 9,907 | 10,190 | 9,192 |
| 新区分（個人保険） | | 17,150 | 17,921 | 18,095 | 17,163 | 17,547 | 16,185 |
| 保険料等収入 | 百万円 | 5,041,868 | 4,236,461 | 3,959,928 | 3,245,541 | 2,525,729 | 2,052,722 |
| 旧区分 | | 1,002,816 | 755,221 | 590,340 | 459,151 | 352,379 | 278,961 |
| 新区分 | | 4,039,051 | 3,481,240 | 3,369,588 | 2,786,389 | 2,173,350 | 1,773,760 |
| 経常利益 | 百万円 | 279,347 | 308,845 | 265,143 | 286,829 | 234,281 | 260,019 |
| 旧区分 | | 185,250 | 137,074 | 113,981 | 92,490 | 80,408 | 69,075 |
| 新区分 | | 94,097 | 171,771 | 151,162 | 194,338 | 153,872 | 190,944 |
| 当期純利益 | 百万円 | 88,520 | 104,309 | 120,958 | 151,132 | 115,508 | 128,446 |
| 旧区分 | | 26,044 | 16,878 | 16,763 | 17,806 | 13,000 | 9,702 |
| 新区分 | | 62,475 | 87,430 | 104,195 | 133,325 | 102,507 | 118,744 |
| 危険準備金繰入額 | 百万円 | △ 120,819 | △ 139,678 | △ 151,592 | △ 165,388 | △ 124,327 | 7,668 |
| 旧区分 | | △ 172,881 | △ 173,722 | △ 173,590 | △ 170,814 | △ 128,539 | 4,238 |
| 新区分 | | 52,061 | 34,043 | 21,997 | 5,425 | 4,212 | 3,430 |
| 価格変動準備金繰入額 | 百万円 | 6,444 | 128,031 | △ 19,251 | △ 39,152 | △ 9,835 | 5,389 |
| 旧区分 | | 12,625 | 17,090 | △ 3,686 | △ 29,845 | △ 9,132 | △ 6,671 |
| 新区分 | | △ 6,181 | 110,940 | △ 15,564 | △ 9,306 | △ 702 | 12,061 |
| 追加責任準備金繰入額 | 百万円 | △ 50,454 | △ 30,648 | △ 50,292 | △ 49,750 | △ 36,430 | △ 161,314 |
| 旧区分 | | △ 50,454 | △ 47,674 | △ 46,698 | △ 46,396 | △ 33,876 | △ 159,087 |
| 新区分 | | - | 17,025 | △ 3,594 | △ 3,354 | △ 2,553 | △ 2,227 |

注：「旧区分」は簡易生命保険契約区分を源泉とする数値、「新区分」はかんぽ生命全件から「旧区分」を差し引いた数値

主要業績の推移（連結）

(億円)

| | 17.3期 | 18.3期 | 19.3期 | 20.3期 | 20.3期 3Q | 21.3期 3Q |
|--------------------|---------|---------|---------|---------|----------|----------|
| 保険料等収入 | 50,418 | 42,364 | 39,599 | 32,455 | 25,257 | 20,527 |
| 経常利益 | 2,797 | 3,092 | 2,648 | 2,866 | 2,339 | 2,608 |
| 契約者配当準備金繰入額 | 1,526 | 1,177 | 1,118 | 1,092 | 813 | 685 |
| 当期純利益 | 885 | 1,044 | 1,204 | 1,506 | 1,150 | 1,290 |
| 純資産 | 18,532 | 20,031 | 21,351 | 19,283 | 23,664 | 27,116 |
| 総資産 | 803,367 | 768,312 | 739,050 | 716,647 | 718,832 | 696,840 |
| 自己資本利益率（ROE） | 4.7% | 5.4% | 5.8% | 7.4% | - | - |
| RoEV ¹ | 4.9% | 9.9% | 8.6% | △2.8% | - | 4.2% |
| 株主配当 | 360 | 408 | 432 | 427 | 213 | - |
| 総還元性向 ² | 40.6% | 39.0% | 118.9% | 28.4% | - | - |
| EV | 33,556 | 37,433 | 39,257 | 33,242 | 35,853 | 39,189 |
| 新契約価値 | 368 | 2,267 | 2,238 | 606 | 638 | △28 |
| 基礎利益（単体） | 3,900 | 3,861 | 3,771 | 4,006 | 3,004 | 3,097 |
| 保険関係損益 | 3,114 | 3,203 | 3,187 | 3,201 | 2,501 | 2,683 |
| 順ざや（利差益） | 785 | 658 | 584 | 804 | 503 | 413 |

1. EVの変動要因から「経済前提と実績の差異」を除いた値。なお、20.3期3Qは変動要因の計測を実施しておらず、数値は記載していない。21.3期3Qは年換算後の値
 2. 19.3期の値については、2019年4月の自己株式の取得（約1,000億円）を含めた総還元性向

<免責事項>

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、将来の業績は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い、予想と異なる可能性があることにご留意ください。